



安全安心だより No.14

～登下校の子どもの安全をみんなで守ろう！～

子ども安全安心対策推進事業に関する事例の紹介

【地域ぐるみの安全対策】

地域の実情によって様々な活動のかたちがありますが、地域ぐるみで見守りなどの安全対策をおこなっている事例を紹介します。

◎ まちづくり協議会等との連携（浅海小学校）

- ・ 浅海小学校区では、まちづくり協議会が予算を計上して、学校付近や通学路の要所にのぼり旗を立て、地域ぐるみで見守り意識を高めています。
- ・ まちづくり協議会が中心となって、児童クラブにあたる「浅海オレンジっこクラブ」を運営しており、ほとんどの児童は、授業が終わるとオレンジっこクラブで過ごし、午後4時30分になると一斉に下校します。下校時は、クラブを運営する地域のメンバー4人が、当番制で各下校コースに付き添っています。
- ・ 登校時にも、保護者、民生児童委員をはじめとする地域の方が、自主的に学校まで付き添っています。



◎ 保護者・子ども教室職員・地域の方など地域ぐるみの見守り（立岩小学校）

- ・ 立岩小学校区では、ほとんどの児童が放課後子ども教室に参加し、下校時には子ども教室の職員が途中まで付き添い、子ども教室に参加しない児童には、途中まで教員が付き添っています。
- ・ 地域の方が自主的に通学路に立ってくださったり、農作業中の方が作業をしながら見守ってくださったり、保護者が自宅前で見守りをしたりして、地域ぐるみで見守りをおこなっています。
- ・ 朝も、見守り隊、交通安全協会、青少年育成支援委員など関係団体の方が、子どもたちの登校を見守っています。



～担当者のひとりごと～
冷たいアイス、すいか、焼肉…。おいしく食べて、しっかりパワーを充電！
夏やせなんて無縁です◎

～「子ども安全安心対策推進事業」に関するお問合せ等は～

教育支援センター事務所（安全・安心担当）

電話：089-943-3205 まで

※学校評議員会、PTA、関係機関などとの連携に、ご活用ください。